

さるとおばあちゃん畑

秩父市立荒川西小学校

五年 新井 葉月

おばあちゃん畑は毎年夏になると、なす、ピーマン、インゲン、ゴーヤ、きゅうりなどのたくさん野菜が収穫できます。今年はおどろいたことに、種をまいてもいないのに、かぼちゃとスイカの芽が出てきました。

「家庭用コンポストで出来た、たい肥を畑の肥料に使ったからだ。」

とおばあちゃんが言いました。

夏のはじめまだナスもインゲンも収穫し始めたばかりのころ。一匹のサルが人間の目をぬすんで収穫できそうなナスとインゲンを食べてしまいました。せっかく私が食べられると思っていたのに、かきりました。おばあちゃんとお父さんで電気さくを張ることにしました。これでサルにとられなくてすむ！と私は心の中で思っていました。けれど一匹の頭のいいサルが、さくが一番下から入って

きます。ナスとかぼちゃは食べられてしまいました。かぼちゃは固いけれどきれいに皮と種が残されていて、どうやってあんな固いものを食べるのか不思議でしたが、あまいし、お腹がいっぱいになるからだろうな：と思います。ました。そういえば、スイカは大丈夫かな？その時はまだ小さかった。たので見つからなかったようです。

日に日に大きくなるスイカは、鳥にもねらわれやすいので、おぼあちゃんと一緒にどうにかかくそうと思って、ビニール袋に入れてみました。相変わらず毎回一匹のサルがさくの中に入っては、ナスとかぼちゃを食べてしまいます。

「今年はサルのためにかぼちゃを育てているようなものだ。」とおぼあちゃんもがっかりしていました。けれど、スイカには気づいていません。私は、良かった、このまま見つからないといいなと思います。

お盆になりました。無事にスイカを収かくしてお盆棚にかざることが出来ました。とてもうれしかっただです。結局、このスイカは小玉スイカだったのか大玉スイカだったのかはわからなかつたけれど、サルにとられなくてうれしかっただです。

ある時におばあちゃんか、  
「夏野菜はどんどん大きくなるから、毎日収かくしなくちゃだめだね。」

と言いました。私もお手伝いをしましたが、  
たくさんあって大変だったのと暑かっただので、  
「もうとらなくていいんじゃない？」  
と言っただら、

「ちゃんと全部とらないと大きくなりすぎて食べれなくなったり、まだ小さいインゲンに栄養がいなくなっっちゃうよ。」  
とおばあちゃんに言われました。私は、育てるのも大変だけれど、収かくも大変だと感じました。

いつでもおいしい野菜が食べられるのは幸

せだなあと感じました。もちろん農家の人も  
大変なことだと思いました。私も草むしりや  
水やりを手伝って、みずみずしくしておいしい  
野菜をおばあちゃん<sup>ちゃん</sup>と作りたいと思いました。  
来年のサル対策は何にしようかな？